

建

経済 常任委員会

委員長 中川泰幸 副委員長 鈴木裕一
委員 上野征一・増田 昇・川那子秀雄・皆川光吉・仁平 実

企業誘致の推進

新たな雇用の確保と地域振興に寄与するために、北関東自動車道桜川筑西インターチェンジ周辺など、企業が立地しやすい環境づくりに努められるよう要望しました。

通学路

児童・生徒の安全・安心を確保する観点から、通学路の整備・補修や民地の草木による道路幅員の侵食に対し適切に対応すること、また、国・県道の通学路においては、公安施設の早急な整備を関係機関に強くお願いしていくよう要望しました。

桜川筑西インターチェンジ周辺整備計画

周辺開発の促進・企業誘致の面からも事業の推進に尽力していただき、現在進めている整備計画

書の策定後、早期に工事の着手を図れるよう要望しました。

市営住宅の管理

住宅用地の借り上げ料が多額であることから、借地料の見直しを検討するとともに、予算縮減につながる用途廃止認定住宅の入居者移転を積極的に進め、建物の解体・撤去・敷地の返還を推進するよう要望しました。

公共下水道事業

市担当職員で施行管理業務ができるよう検討し、業者への委託経費の削減に努め、適正な現場施行管理がなされるとともに、さらに接続推進を図るため、早期の接続者に対して期間を定めての使用料を免除するなど、公共下水道に接続しやすい施策を検討し、接続率の向上に努められるよう要望しました。

文

教厚生 常任委員会

委員長 飯島重男 副委員長 萩原剛志
委員 高田重雄・大塚秀喜・潮田新正・小高友徳・菊池伸浩

児童クラブ

谷貝小・南飯田小に平成25年度に児童クラブが開所することにより、市内の小学校すべてに設置されます。平成27年4月から本格施行となる「子ども子育て関連三法」を踏まえ、対象を小学3年生から6年生まで拡大されるよう要望しました。

児童虐待防止

新規事業である児童虐待防止緊急事業については、児童虐待件数が全国的に増加傾向にあり、対策には発生予防、早期発見、早期対応が重要である。虐待防止に努め、未来のある子どもたちが健やかに成長できるよう要望しました。

AEDの講習

小学校に設置されているAEDは、先生方が使用すると思うが、子どもたちの安全を図る上でも、年数回、普通救命講習会を実施し、適正に対応できるように要望しました。

使用料減免

社会教育施設については、市の伝統文化を保存する活動をしている団体等については、使用料免除となるよう検討を要望しました。

現地視察

3月14日に、現在建設中（大和中学校跡地）の給食センターを視察しました。

委員会報告

桜川市議会議員は、全議員がいずれかの常任委員会に所属し、それぞれ掲げたテーマについて審査しています。このページでは、その審査内容や各委員会の活動状況を報告します。

総

務常任委員会

今号は総務常任
委員会に注目



増田俊夫 委員長 市村 香 副委員長 林 悦子 委員 橋本位知朗 委員 相田一良 委員 増田 豊 委員 岩見正純 委員

歳入

主に、税収の確保について質疑がなされました。市税全般において、若干の増収が見込まれるが予断を許さない状況であり、国民健康保険税を含む市税については、税の公平性の確保に向けて滞納者の常習化をなくすため、茨城租税債権機構や県税事務所とタイアップしながら、さらなる収納率の向上を目指すよう要望しました。

歳出

新年度から機構改革により監査委員会事務局が総務課に移行するが、組織のあり方としては、独立性が重視される組織体制が望まれることから、経費等も考慮した上で、外部監査導入についても十分な検討をするよう要望しました。また、デマンド交通については、さらなる利用の向上に向けた工夫をするとともに、多くの市民にとって地域の足として有効な交通手段となるよう努力していただきたい。

その他としては、今後は地方交付税が減少する見込みですが、市の地域振興を図るためには、道路網を含めたインフラの整備を進めることが重要課題となってきます。そのためにも国・県の補助

や助成制度を最大限に利用し、財源の確保ができるよう推進することを要望しました。



デマンド型乗合タクシー

その他の付託された案件

市長の給与の特例に関する条例